

まちづくり交付金

全国都市再生のために

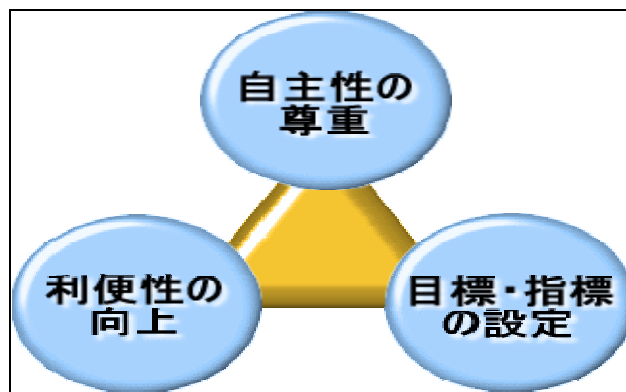
○まちづくり交付金とは

まちづくり交付金は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るために平成16年度から新たに創設された国土交通省所管の制度です。

本町は、都市再生整備計画を作成し、平成18年度より順次着手しております。また、平成19年2月の計画変更により下記のとおり事業を追加しております。

・市町村の提案に基づく事業等が可能となるなど自由度が高くなっています。

・計画に位置付けられた事業や施設等に対する交付金の充当割合は自由に設定できます。



・事業間の流用を自由にし、変更交付手続きを実質的に不要にしています。

・事業の進捗に応じて年度間、国・地方の負担割合を調整することが可能となっています。

・市町村にはまちの課題に応じて、まちづくりの目標を設定していただきます。

・計画目標(指標)の達成状況等を、市町村自ら事後的に評価し公表していきます。



高い相乗効果・波及効果

事業の概要

【高山地区】

- ◎ 区域 : 高山地区 約180ha ◎ 事業規模: 約4.5億円
- ◎ 事業年度: 平成18年～平成22年
- ◎ 目標: ①歴史的、文化的資産を活かし、都市と農村との交流促進により観光拠点の創出を行う。
②生活環境の改善により、防災・安全性の向上により快適に暮らせるまちづくりを行う。
観光入込客数 ・ ・ 450人/年(平成16年度) → 700人/年(平成22年度)
地区内道路の狭隘率 ・ ・ 63.6%(平成16年度) → 28.8%(平成22年度)
消防水利充足率 ・ ・ 50.0%(平成16年度) → 70.0%(平成22年度)

◎ 主な事業

★ 【基幹事業】

- ・ 道路整備 ・ ・ 町道向町2号線、**町道サワノクボ線、町道南町線、向町1号線(生活道)**
- ・ 既存建物活用事業 ・ ・ 旧高山小学校施設整備(コミュニティ施設)
- ・ 高質空間形成施設 ・ ・ 親水施設整備

★ 【提案事業】

- ・ まな祭り助成事業、事業活用調査(旧高山小学校検討業務)

・ **地域創造支援事業(有効消火栓改良事業)**

*追加事業は、**太文字**

【問い合わせ】 まちづくり課、建設課、農林商工課、上下水道課、消防本部 (739-0001)

都市再生整備計画（第1回変更）

たかやま
高山地区

おおさかふ とよのちょう
大阪府 豊能町

平成19年2月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	豊能町	地区名	高山地区	面積	180 ha
計画期間	平成18年度	～	平成22年度	交付期間	平成18年度	～	平成22年度

目標
歴史とやすらぎの農村空間の創出 ① 歴史的、文化的資産を活かし、都市と農村との交流促進により観光拠点の創出を行う。 ② 生活環境の改善により、防災性・安全性の向上により快適に暮らせるまちづくりを行う。
目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ・本地区は豊能町の南部に位置し、周囲を北摂山系に囲まれているが、一方で箕面市、茨木市に接していることから、都市部からの玄関口の機能を有しており、地域振興を考える上で非常に重要な位置にあり、そのため本町の地域振興に与える影響は非常に大きい。 ・本地区は高山右近の出生地と言われ、高山マリアの墓があるなど歴史的・文化的資産に恵まれた地域であるが、人々に周知されていないため十分に活用されていない。 ・本地区内に昭和59年に建設された高山小学校が平成17年4月で閉校されるなど、緩やかな高齢化が進んでおり、高齢者が就業や日常生活で活躍できる場は限られることや、家族においては核家族化が進んでいることなど高齢者の生活が大きな問題となっている。 ・本地区は上位計画である「豊能町総合計画」、「豊能町都市計画マスタープラン」によりコミュニティ施設の整備を図り観光レクリエーションの拠点・ルートの整備充実に努める地区と位置付けされている。 ・当計画の作成に当たって、地元推進協議会と検討を進めており、これらを踏まえて歴史的・文化的資産を活用しながら安全・快適に暮らせる賑わいに満ちたまちづくりを進める。
課題
・農村という本地区ならではの特性を活かし、都市と農村の交流における農村空間の将来像ある「歴史とやすらぎの農村空間の創出」に向け、都市と農村との交流を促進することにより、より活発な農産物の交流と都市部住民の参加や協働などのマンパワーを活用した地域の振興を図る。 ・地区の持っている自然、歴史文化遺産や農産物、生活文化などの潜在的未活用資源の活用を図ることにより、観光客の増加による農村の活性化により、本地区を生活が楽しく賑わいに満ちたまちにする。
将来ビジョン(中長期)
「豊能町総合計画」・・・高山地区の「真菜まつり」や歴史的資源をPR・活用した南地区の観光拠点化を図る地域

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	
							目標年度
地区来訪者数	人/年	観光入込客数	交流活動の拠点の整備により地区施設の利用者の増加	450	平成16年度	700	平成22年度
狭陰道路率	%	地区内道路の狭陰率	道路の拡幅整備により生活環境の向上及び防災性・安全性の向上	63.6	平成16年度	28.8	平成22年度
消防水利充足率	%	有効消火栓から半径140m内の面積	有効消火栓の設置により防災性が向上	50.0	平成16年度	70.0	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
・歴史的資産・地域資源を活かし、都市と農村との交流促進により観光拠点の創出を行う。	高質空間形成施設：親水施設
歴史的資源を活用した南地区の観光拠点化のまちづくりを図る。	既存建造物活用事業：旧高山小学校の整備
都市住民を中心とした交流活動の拠点として整備を行う。	事業活用調査：旧高山小学校
旧高山小学校の廃校を整備し、都市住民と農村の交流を推進する。誰もが集えるやすらぎ空間を整備し、人々が賑わい空間を創出する。	まちづくり活動推進事業：真菜まつり実行委員会助成
・地域環境の改善により、防災性・安全性の向上により快適に暮らせるまちづくりを行う。	道路：町道向町1号線、町道向町2号線、町道サワノクボ線、町道南町線の整備
災害時における消防、救助、救援活動を支障無く行うため、緊急車両の進入が困難な区間を拡幅し安心して暮らせるまちづくりを行う。	地域創造支援事業：山林用消火栓を有効消火栓に整備
旧高山小学校を拠点として日本のふるさとを体験できるルートを整備し、人の賑わいによるまちの活性化を図る。	

その他

提案事業

○ 事業活用調査

旧高山小学校を地域活性の拠点として整備を図るため、地区住民の参加を求め、整備計画を策定しまちづくりを推進する。

○ まちづくり活動推進事業

地区特産品の真菜に附加価値を高めるためにイベントを開催し、参加者数の増加を図るとともに、真菜の認知度を高める。

○ 地域創造支援事業

狭隘部な町道部の拡幅に伴い、消防自動車の走行が可能となる。しかし、既設水道管がφ50であるため、既存の消火栓は、山林用消火栓である。このため、火災時には有効に利用することが困難であるため、既設配水管をφ75に布設替えし、有効消火栓に改良するものである。

交付対象事業等一覧表(変更後)

交付対象事業費	456.1	交付限度額	182.4	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業														
事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考) 事業期間		交付期間内事業期間		(参考) 全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路	①	町道向町第2号線	豊能町	直	L=250m	H18	H22	H18	H20	84.1	84.1	84.1	84.1	
道路	②	町道サワノボ線	豊能町	直	L=591m	H19	H22	H19	H21	119.1	119.1	119.1	119.1	
道路	③	町道南町線	豊能町	直	L=255m	H19	H22	H19	H21	69.2	69.2	69.2	69.2	
道路	④	町道向町第1号線	豊能町	直	L=150m	H19	H22	H20	H22	31.4	31.4	31.4	31.4	
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		－			－									
地域生活基盤施設		－			－									
高質空間形成施設		親水施設	豊能町	直	A=400㎡	H18	H22	H21	H21	40.5	40.5	40.5	40.5	
高次都市施設		－			－									
既存建造物活用事業		旧高山小学校	豊能町	直	A=1,131㎡	H18	H22	H19	H20	60.6	60.6	60.6	60.6	
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人にやさしいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										404.9	404.9	404.9	0.0 404.9	

...A

提案事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分		うち民負担分	交付対象 事業費		
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			50.1	50.1			50.1	0.0
地域創造支援事業	有効消火栓改良事業	高山地区	豊能町	直	消火栓5基	H19	H22	H19	H22	50.1	50.1	50.1	0.0	50.1				
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
事業活用調査	旧高山小学校活用事業	旧高山小学校	豊能町	直	1,131㎡	H18	H18	H18	H18	0.6	0.6	0.6	0.0	0.6				
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
まちづくり活動推進事業	真菜まつり推進事業	高山地区	真菜まつり実行委員会	間	450人	H18	H22	H18	H22	0.5	0.5	0.5	0.0	0.5				
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0				
合計										51.2	51.2	51.2	0.0	51.2				
													合計(A+B)	456.1				

...B

[illegible]

高山地区（大阪府豊能町）整備方針概要図

目標	歴史とやすらぎの農村空間の創出		
	① 歴史的、文化的資産を活かし、都市と農村との交流促進により観光拠点の創出を行う。 ② 生活環境の改善により、防災性、安全性の向上により快適に暮らせるまちづくりを行う。		
代表的な指標	観光入込客数（人／年）	450（平成16年度） → 700（平成22年度）	
	地区内道路の狭隘率（％）	63.6（平成16年度） → 28.8（平成22年度）	
	消防水利充足率（％）	50.0（平成16年度） → 70.0（平成22年度）	

